



慶應義塾大学 外国語教育研究センター主催

# 2009 年度 海外研修 募集要項

ニュージーランド オークランド大学  
University of Auckland

オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ大学  
University of New South Wales

オーストラリア シドニー大学  
University of Sydney

## 趣旨

塾生が、本学の交流協定校に設置されている優れた語学研修プログラムに参加することで、語学力向上を図ると同時に、異文化体験を通して豊かな国際性を養うための第一歩とすることを旨とする短期研修プログラムです。将来的な長期留学への不安を解消することも目的としています。

## プログラム概要

派遣先大学	オークランド大学(UA)	ニュー・サウス・ウェールズ大学(UNSW)	シドニー大学(US)
所在地	ニュージーランド オークランド	オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ州 シドニー	
研修期間	4 週間 2010年2月22日(月) ~3月19日(金)	5 週間 2010年2月8日(月) ~3月12日(金)	5 週間 2010年2月15日(月) ~3月19日(金)
渡航日程	2010年2月20日(土) ~3月21日(日)	2010年2月6日(土) ~3月13日(土)	2010年2月13日(土) ~3月20日(土)
募集人数	15名	20名	10名
最少催行人数	5名	5名	10名
応募資格	慶應義塾大学に在籍する学部生・大学院生		
渡航形態	大学手配の航空便による往復団体旅行		
宿泊先	ホームステイ		
単位数	2単位(2010年度春学期の外国語教育研究センター特設科目として認定)		
参加費用 (海外旅行保険料を除く)	約41万円(予定)	約52.5万円(予定)	約54.8万円(予定)

詳しくは本募集要項 および を参照してください。

単位の取り扱いについては所属学部により異なります。 単位認定を希望する場合は、必ず申込み前に所属学部の学事担当者に問い合わせてください。

本海外研修は、2009年度の今回をもって終了となります。

## 全プログラム共通要項

### 1. 全体の流れ

(1) 募集説明会 (三田・日吉ともに 18:20 開始)	2009年10月14日(三田)南館 2B33 番教室 2009年10月15日(日吉)第4校舎 B 棟 23 番教室
(2) オンライン登録受付期間	2009年10月15日～23日
(3) 申込書受付期間	2009年10月26日～29日
(4) 参加許可者発表	2009年11月2日 10:00
(5) 参加費納入期限	2009年12月中旬～2010年1月上旬(予定)
(6) 事前オリエンテーションおよびケーススタディ・トレーニング	2009年11月27日(18:15～・予定)
(7) 渡航前オリエンテーション	2010年1月15日(18:15～・予定)
(8) 現地研修	2010年2月～3月
(9) レポートおよび報告書提出期限	2010年4月中旬(履修申告前)
(10) 履修申告(単位取得希望者)	2010年4月中旬(学事 web 登録)

### 2. 参加申し込み手順

#### (1) オンライン登録 (2009年10月15日(木)10:00～10月23日(金)16:30)

外国語教育研究センター web サイト<<http://www.flang.keio.ac.jp/>>トップページの“センターからのお知らせ”よりオンライン登録用の画面へ進み、必要データを登録してください。登録する内容は、本募集要項巻末の申込書の記入項目のうち、主に個人情報部分と英語の語学能力試験に関わるものとなります。受験した語学能力試験のスコア等を手元に用意しておくとい良いでしょう。

登録するデータ内容は、申込書に記入する内容と同一にしてください。

ローマ字氏名欄に登録するアルファベット表記は、パスポートと同一で申請してください。

所定の時刻を過ぎると、システム上データの登録はできなくなります。早めに作業を終えるようにしてください。

申込みは「データ登録」と「申込書類の提出」双方によって初めて完了します。データ登録が完了していても、申込書一式を期限までに提出しなければ、申込みとはみなされませんので、十分に注意してください。

万が一内容を誤って登録してしまった場合は、登録時に送信される確認メールをプリントアウトしたものに赤字で訂正を入れ、書類提出時に窓口で申し出てください。

#### (2) 申込書提出 (2009年10月26日(月)～10月29日(木))

キャンパスにより受付時間が異なりますので、注意してください。

「海外研修 共通参加申込書」と「共通参加申込書(エッセイ)」の両方を提出してください。web 上から MS-Word ファイルをダウンロードして記入・印刷、事務室配布の募集要項巻末の所定用紙に記入、どちらの方法でも構いません。書類が完成したら、すべてのページにつきコピーを1部取り、オリジナルに添えて、計2部を下記の指定の場所へ期限時間内に提出してください。なお、書類提出の際には上記(1)のオンライン登録(締切日が異なります)を完了していることが必要になります。オンラインでの登録が完了していないと窓口での申込受付は行いませんので、注意してください。

#### 提出場所

##### ・日吉・三田キャンパス

期間 2009年10月26日(月)～10月29日(木) 9:00～16:30(日吉) 10:30～16:30(三田)

場所 外国語教育研究センター 事務室

##### ・湘南藤沢キャンパス

期間 2009年10月26日(月)～10月29日(木) 9:15～16:50

場所 SFC 事務室 学事担当(総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科)

SFC 看護医療学部事務室(看護医療学部・健康マネジメント研究科)

**併願**

希望者は、第1希望の研修校のみにチェックを入れてください。複数の研修校を希望する併願申込みはできません。

**保証人の承諾**

海外研修への参加には、保証人の承諾が必要です。「オンライン登録・申込書提出」前に、必ず保証人の承諾を得てください。派遣が許可された後、保証人の承諾書(署名捺印入りの書類)の提出が必要となります。保証人の承諾が得られないことを理由とした参加辞退は、受付ませんので十分に注意してください。

**3. 応募資格**

慶應義塾大学学部生・大学院生

**4. 選考方法**

応募者が募集人数を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行いません。

**5. 参加許可者の発表 2009年11月2日(月) 10:00**

日吉・三田キャンパス: 外国語教育研究センター掲示板

湘南藤沢キャンパス: 事務室掲示板

**6. オリエンテーション**

2009年11月27日(金) 18:15~(予定)

2010年1月15日(金) 18:15~(予定) 詳細については、結果発表時に対象者に通知します。欠席は認められません。

**7. ケーススタディ・トレーニング**

研修期間中に実際に現地で起こり得る問題について考え、最良の対処方法を学ぶトレーニングです。様々な状況設定からテーマを選び問題の解決方法をグループワーク形式で検討し、適切な対処法を身につけ、一緒に研修に参加する派遣者とのコミュニケーションを取る機会となります。

**8. 滞在施設**

滞在中の宿泊は、3プログラム全てホームステイとなります。

**・ホームステイについて**

ホームステイでは、現地で生活をしている住民と共に暮らすことで、日常会話や同国のライフスタイル、文化といったものを体験できます。研修先の国によって家族形態や人種・宗教はさまざまで、ステイ先の家庭も親一人子一人の家庭、カップルだけの家庭、子どもが複数いる家庭、独身者の世帯、また、他の留学生が同居している場合もあります。

ステイ先では原則、一人に一室が与えられ、部屋には必要最低限の家具がついています。滞在中は、最低限の身の回りのこと(ベッドメイキングや部屋の掃除、自分の衣類の洗濯)は各自で行いましょう。ステイ先の設備は丁寧に扱うように注意してください。

ステイ先によって、それぞれの家のルールがあるので、ステイ初日にホストファミリーとルールの確認を行いましょう。また、帰宅後や週末などはできる限りホストファミリーとの時間を有意義に過ごして、積極的にコミュニケーションを図り、日常の英会話能力向上に努めてください。

**9. 帰国後の提出物**

・ 単位認定を希望する学部生のみ、本プログラムの事後研修として、レポート課題を配布します。単位認定を希望する学部生は、「課題レポート」(A4用紙3枚程度)を期限までに提出してください。

・ 本プログラムに参加した学生には、研修終了後に外国語教育研究センターに報告書を提出していただきます。(必須)

## 10. 単位の取り扱い

本プログラムにより派遣生のうち、単位認定を希望する学部生には、派遣先大学からの成績証明と帰国後に提出する課題レポートによって、外国語教育研究センター担当教員の成績評価がなされ、2010年度春学期に単位が認定される場合があります。(ただし、派遣時4年次在籍者は対象外とします。)

単位認定を希望する学部生は、上記9.に記載されている「課題レポート」を提出し、2010年4月の学事web履修申告期間中に登録することになります。ただし、単位の取り扱い等は学部により異なり、また、必ずしも単位の認定がなされるとは限りませんので、注意してください。また認定された単位が卒業単位として扱われるとは限りません。詳細は派遣者決定後の渡航前オリエンテーションで説明をします。

## 11. 参加を辞退する場合

やむを得ず参加を辞退する場合は、ただちに外国語教育研究センターに申し出てください。申し出が遅れた場合、補欠者への連絡が遅れる等、研修の進行に多大な迷惑がかかります。また、参加費用納入後に辞退する場合は、全プログラムにおいて、規定に従ってキャンセル料金が発生しますので、注意してください。キャンセルの詳細については、後日、派遣許可者に配布される資料を参照してください。

「各研修の運営委託業者配布資料」は10月14日(三田)・15日(日吉)の募集説明会にて配布するほか、外国語教育研究センター事務局、SFC事務局、および看護医療学部事務室の各窓口で配布します。

## 12. その他の注意事項

- (1) 連絡先等の変更があった場合は、参加許可者の発表前であっても、当センターにその都度連絡してください。
- (2) 申込時に旅券(パスポート)を保有していない派遣希望の塾生は、早急に申請を完了しておいてください。パスポートの取得には時間がかかる場合があります。申請・取得が遅くなると、プログラムに参加できない場合もありますので、十分に注意してください。
- (3) オリエンテーション等、日程が定められた事前の行事への欠席は、原則として認められません。あらかじめスケジュールを空けておくようにしてください。
- (4) 研修中の事故及び疾病等は、派遣学生の責任とし、そのための経費は自己負担とします。
- (5) このプログラムは、自然災害、戦争・テロ災害、航空機等交通機関に関わる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故等のために中止する可能性があることをあらかじめご了承ください。
- (6) 以下のものは、各研修校の参加費用には含まれませんので注意してください。参加費用は、各研修校のプログラムから確認してください。

### 参加費用に含まれないもの

- ・成田空港までの往復交通費など日本国内の移動交通費
- ・研修中の通学費用                      ・研修中の教材費
- ・研修期間中の平日の昼食代
- ・自由行動中に発生する費用、電話代など個人的費用
- ・超過手荷物料金(航空会社の規定による超過手荷物運搬料金)

## 13. 問合せ先

慶應義塾大学 外国語教育研究センター 事務局 日吉キャンパス第3校舎2F 三田キャンパス第1校舎1F

URL:<http://www.flang.keio.ac.jp/> E-mail: [fcenter-sa@adst.keio.ac.jp](mailto:fcenter-sa@adst.keio.ac.jp)

海外研修に関する問合せ窓口受付時間(月～金): 10:30～16:30

三田事務局 電話:03-5427-1601 日吉事務局 電話:045-566-1031

## プログラム別要項

### 1. オークランド大学 The University of Auckland, English Language Academy

キャンパス: City Campus URL: <http://www.ela.auckland.ac.nz/>

渡航期間: 4週間 2010年2月20日(土)～3月21日(日)

出発日: 2010年2月20日(土)成田発、2月21日(日)オークランド着予定

帰国日: 2010年3月20日(土)オークランド発、3月21日(日)成田着予定

予定日程:

日 程	予 定	滞在方法
1	2/20(土) 成田空港集合後出発前オリエンテーション。成田空港よりオークランド空港へ向けて出発(経由便)	機中泊
2	2/21(日) オークランド空港到着。現地係員またはホストファミリーによる出迎え。ホストファミリー宅へ。	ホームステイ
3	2/22(月) プレイメントテスト。オリエンテーション。	
4	2/23(火) 研修コース	
28	3/19(金) 研修コース最終日: 修了証書授与	
29	3/20(土) オークランド空港へ移動、オークランド空港より成田空港へ向けて出発	機中泊
30	3/21(日) 成田空港到着、解散	

\* 研修日程、内容は変更の可能性もあります。

\* フリータイムや週末には、研修校が主催する課外活動や小旅行に参加することが出来ます。

(現地にて研修校に直接申込。別途参加費用が必要)

#### 1.1. 大学概要

オークランド大学は 1883 年に設立されて以来、学術と勉学に秀でたニュージーランド最大の大学として、教育研究分野を常に先導しています。大学は国際都市オークランドの中心に位置しており、38,500 名の学生に刺激に満ちた環境を提供しています。同大学が提供する広範囲にわたる世界レベルの研究主導型カリキュラムは国際的に認知されており、世界中の 93 以上の国々から約 4,200 名の留学生が大学での勉学を選択しています。各学生の持つ異なる視点や文化が、大学のコミュニティーを豊かなものになっています。

#### 1.2. 研修校概要

同大学の English Language Academy (ELA)は、高水準の英語教育や IELTS トレーニングを、様々な国籍の学生に提供しています。ELA には、学部生や学部の卒業生程度対象の英語プログラムや専門英語、教員養成コースといった全ての学生の関心に沿ったコースがあります。前述の通り、オークランド大学のキャンパスはオークランドの中心に位置しており、ELA は、そこで学ぶ学生のために近代的で広大な環境を提供しています。全ての教員は専門の資格を持ち、第二外国語としての英語を教える幅広い経験をもっています。ELA のスタッフはオークランド大学のスタッフとも連携しています。

1.3. 募集人数 15 名 最少催行人数 5 名

1.4. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行。

1.5. 参加費用 約 410,000 円(予定。海外旅行保険料を除く)

【内訳】

研修費用(予定)	約 246,500 円	登録・授業料、滞在中の宿泊費、食費(平日の昼食を除く)、現地空港から大学までの往復送迎費、現地での 24 時間日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金(予定)	1 約 163,470 円	往復航空運賃、成田空港施設使用料、2009 年 9 月現在の燃油特別付加運賃(JPY29,600...変動します)、成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、現地でのヘルプデスク(電話)
海外旅行保険料	(参考金額) 15,840 円	東京海上日動火災保険株式会社 3L タイプ(31 日間まで)の場合

**1: 旅行代金については、参加確定人数により予定金額より10,000～30,000円の変動が発生する可能性があります。**

(注)上記研修費用は、2009 年 9 月を基準に算出されています。確定金額は CIEE から請求書発送時にその月の CIEE 規定為替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。上記研修費用・旅行代金は、今後の為替、航空運賃、燃油特別付加運賃の変動等により変更になる場合があり、また 10 名以上の参加申込みがあった場合の適用であるため、10 名未満の場合は料金の変更となります。また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

## 1.6. 研修内容 一般英語(General English)コース

一般英語コースは指定テキストや様々な補助教材を使用して行なわれます。このコースは日常会話能力の向上を図るためにつくられたものですが、正規大学留学を検討している人にも適しています。クラスでは文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ポキャプラリー、正確なライティングを学びます。

レベルは Elementary、Pre-Intermediate、Intermediate、Upper-Intermediate、Advanced の 5 段階があります。学生は全員、初日にプレシメントテストを受け、各人の能力にあったクラスに割り振られます。毎週月曜日に入学できるシステムをとっているため、週がわりでクラス編成が変わるので、新鮮さを味わえます。プレシメントテストの結果により、午前午後どちらかを中心に授業を受けていただく事になります。

### 時間割(例)

(午前中心の場合)

Time	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8.30 - 11.00	Classes				
	Break				
11.10 - 12.40	Classes				
	Lunch				
1.30 - 3.30	Workshops (2 one-hour workshops per week)				

(午後中心の場合)

Time	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
10.00 - 12.00	Workshops (2 one-hour workshops per week)				
	Lunch				
12.50 - 3.20	Classes				
	Break				
3.30 - 5.00	Classes				

\* クラスは週 20 時間。そのうち 12.5 時間は Language Development、残りの 7.5 時間はクラスのレベルに応じて Topics や Business English についての授業となります。

\* 上記に加え 2 つの workshop(週 2 時間のみ)を選択することができます(追加費用無し)。Workshop で扱うテーマはその時々で変化しますが、いずれもクラス時間の補強ができるような内容になっています。

\* 休憩と昼食時間は、クラスによって変更になる可能性があります。

詳細は各自 <http://www.ela.auckland.ac.nz/courses/general-english/> で確認してください。

## 2. ニュー・サウス・ウェールズ大学

University of New South Wales, Institute of Languages

キャンパス: Kensington Campus あるいは Randwick Campus URL: <http://www.lang.unsw.edu.au/>

渡航期間: 5 週間 2010 年 2 月 6 日(土) ~ 3 月 13 日(土)

出発日: 2010 年 2 月 6 日(土)成田発、2 月 7 日(日)シドニー着予定

帰国日: 2010 年 3 月 13 日(土)シドニー発、同日成田着予定

予定日程:

日 程		予 定	滞在方法
1	2/6(土)	成田空港集合後、出発前オリエンテーション。成田空港よりシドニー空港へ向けて出発	機中泊
2	2/7(日)	シドニー空港到着後、研修校スタッフによる出迎え。研修校に移動後ホストファミリー宅へ	ホームステイ
3	2/8(月)	プレイスメントテスト	
35	3/12(金)	研修コース最終日: 修了証書授与	
36	3/13(土)	シドニー空港へ移動。シドニー空港より成田空港へ向けて出発。成田空港到着後、解散	

\* 研修日程、内容は変更の可能性もあります。

### 2.1. 大学概要

ニュー・サウス・ウェールズ大学(University of New South Wales)は 1949 年の創立以来、州内で最大規模を誇り、かつ最も高い評価を集める大学のひとつとしてその地位を確立しています。約 4 万人の学生に 6,500 人を超える教職員を抱える、オーストラリア最大級の教育機関です。過去 50 年間、国際的教育事業に大きく貢献してきた同大学では、在籍者の 2 割以上を留学生が占めており、海外からの留学生や研究者の受入実績には目を見張るものがあります。また、その教育内容は非常に高い評価を受けており、多くの卒業生が、国内外の政治、ビジネス、学問等の世界で活躍しています。

同大学と慶應義塾大学との関係は、長年、研究者交流が主流でしたが、2004 年に同大インスティテュート・オブ・ランゲージ(Institute of Languages)と本学外国語教育研究センターが協定を交わし、先方のすぐれた語学プログラムに塾生を短期間派遣することになりました。

### 2.2. 研修校概要

1966 年に創設された同大学のインスティテュート・オブ・ランゲージ(UNSWIL)は海外からの留学生向けの語学教育に豊富な経験を持ち、オーストラリア国内で最も豊かな歴史と伝統を持つ語学研修センターとして知られています。オーストラリアでは、留学生などに英語を教える学校やコースを ELICOS(English Language Intensive Course for Overseas Students)と呼んでいます。設備、教員のレベル、授業内容、1 クラスあたりの学生数などが基準以上である学校のみが ELICOS 校として政府に登録・認定されますが、UNSWIL も、この ELICOS 認定校です。

2.3. 募集人数 20 名 最少催行人数 5 名

2.4. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行

2.5. 参加費用 約 525,000 円(予定。海外旅行保険料を除く)

[内訳]

研修費用(予定)	362,000 円	登録・授業料、滞在中の宿泊費、食費(平日の昼食を除く)、現地空港から大学までの往復送迎費、日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金(予定)	163,375 円	往復航空運賃、成田空港施設使用料、オーストラリア空港税、2009 年 9 月現在の燃油特別付加運賃、ETAS(オーストラリア電子ビザ)発行代、成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、シドニー空港での日本語チェックインアシスタント料、現地でのヘルプデスク(電話)
海外旅行保険料	(参考金額) 15,200 円	東京海上日動火災保険株式会社 8L タイプ(39 日間まで)の場合

(注)上記研修費用は、2009年9月を基準に算出されています。確定金額はCIEEから請求書発送時にその月のCIEE規定為替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。上記研修費用・旅行代金は、今後の為替、航空運賃、燃油特別付加運賃の変動等により変更になる場合があり、また10名以上の参加申込みがあった場合の適用であるため、10名未満の場合は料金に変更となります。また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

## 2.6. 研修内容

ケンジントンまたはランドウィック・キャンパスで開催される5週間の一般英語(General Proficiency English)コースに参加して、「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4技能を磨きます。授業時間は週あたり約20時間です。時間割例については下記を参照してください。

なお、研修初日におこなわれるプレACEMENTテストの結果によっては、個々の学生のレベルとニーズに合ったその他のコース、すなわち、ビジネス英語(English for Business Communication)コースや進学準備英語(English for Academic Purposes-EAP)コースなどを選ぶことが可能です。以下に、今回の応募者が履修する可能性がある3コースの概要を記します。

### 2.6.1. 一般英語(General Proficiency English)コース

前述の通り、一般英語(General Proficiency English)コースでは、「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4技能を磨きますが、授業では他に、文法、語彙、発音にも力を入れ、会話能力の強化にも重点が置かれます。クラスは初級から上級まで6レベルあり、該当者の多いレベルではさらにいくつかの段階に分けられます。研修初日に行なわれるプレACEMENTテストの結果に応じて学生個々に合った適切なレベルを決定します。いずれのレベルにおいても、インターネットや、その他のコンピュータ教材を利用する授業があります。また、自習教材が各種揃えられた ILC( )での学習などが組み込まれています。学生の成績は、試験結果および普段の授業中の発言などで評価されます。

ILC = 自習室(質問対応スタッフ常駐) テープ、ビデオ、コンピュータなど、特に言語学習者のために開発された種類豊富な教材を設置。

初級	レベル1-2	構文や語彙の向上
中級	レベル3-4	上級語彙および文法分野を盛り込んだスキルアップ
上級	レベル5	ケンブリッジ英語検定試験レベル3に向けた対策準備
	レベル6	通訳・翻訳能力、ケンブリッジ英語検定試験レベル4対策準備

プログラム中の時間割(例)は以下の通りです。

### Sample Timetable for General Proficiency English

詳細は各自、[http://www.languages.unsw.edu.au/engForWork/GPE\\_timetable.html](http://www.languages.unsw.edu.au/engForWork/GPE_timetable.html) より確認すること。

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00-11:00	Access to Learning Library (LSU)/Optional Activities	Access to Learning Library (LSU) is available	Speaking skills: On the phone - taking and leaving messages	Grammar: Time expressions – for and since	Weekly vocabulary review: Australian English – idiomatic language
11:30-13:30			Video listening: "Love and Money", comprehension and discussion	Language laboratory: Note taking skills and pronunciation	Media study: Video news and media presentations
14:00-16:00	Theme introduction: Working life	Grammar analysis: Using the present perfect	Access to Learning Library (LSU) is available/ optional recreational activity = Bondi to Coogee coastal walk	Access to Learning Library (LSU) is available	Optional sporting activity: Beach Volleyball Excursion: Harbour Cruise
16:30-18:30	Theme extension: Dream Jobs, reading and discussion	Writing skills: Linking words computer laboratory: resume writing			



## 2.6.2. ビジネス英語 (English for Business Communication) コース

このコースは、ビジネス現場での会話、文章といったコミュニケーション能力を向上させたい学生を対象としています。語彙や文法面の強化はもちろん、討論、プレゼンテーション、交渉、ビジネス文書などのビジネススキルの向上がはかれるコースです。

このコースにはレベルが2つ設定されています。

・「ビジネス英語中級レベル(Intermediate English for Business Communication - IBEC)」

中級から中級の上レベルを対象としたコース

・「ビジネス英語上級レベル(Advanced English for Business Communication - ABEC)」

中級の上から上級レベルの英語力保持者を対象としたコース

ビジネス英語コースの学生は、プログラム中におこなわれる、口頭および書面の課題の出来映えで評価され、成績がつきます。

### English for Business Communication Sample Timetable

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00-11:00	Access to Learning Library/ Optional sporting activities and excursions		Presentation skills: Students give individual presentations to the class on a set topic (filmed); Feedback	Case Study 2: Meeting to solve marketing problems introduced in previous lesson	Management: Vocabulary and discussion based on cultural issues
11:30-13:30			Writing skills: Short reports using appropriate headings and passive voice (Computer Lab)	Team project: Designing and filming a TV commercial, including pronunciation practise	Media study: Video business news, vocabulary and discussion/analysis
14:00-16:00	Marketing: Vocabulary and discussion/analysis of different methods	Meetings: Listening practise and reading and discussion	Access to Learning Library (LSU) is available or optional sporting activities and excursions.	Access to Learning Library (LSU) is available or optional sporting activities and excursions.	Access to Learning Library (LSU) is available or optional sporting activities and excursions.
16:30-18:30	Grammar Analysis: Practicing the passive voice in formal English; correct use of prepositions	Case Study 1: Solving a marketing problem in a company: Reading and listening (Language Lab)			

以上のコースは、該当する受講者が少ない場合やその他の理由により、開講されない場合もあります。

詳細は各自、[http://www.languages.unsw.edu.au/engForWork/engBusiness\\_timetable.html](http://www.languages.unsw.edu.au/engForWork/engBusiness_timetable.html) より確認すること。

## 2.6.3. 進学準備英語 (English for Academic Purposes-EAP) コース

学習者が英語圏の大学にスムーズに進学できるよう、進学準備英語コースがケンジントンまたはランドウィック・キャンパスで開講されています。これは本来、条件付で大学への入学許可が下りている学生や、大学入学を考慮する学生を対象としたプログラムです。なお、このコースに入学するにはプレースメントテストで実力が認められなければならないませんが、目安としては、IELTS 5あるいはTOEFL-CBT 150(TOEFL-PBT 473) 以上の英語力が必要条件となっています。

### 3. シドニー大学

University of Sydney, Centre for English Teaching (CET)

キャンパス: メインキャンパス Wentworth Building (変更の場合もあり)

URL: <http://www.usyd.edu.au/cet/>

渡航期間: 5週間 2010年2月13日(土)～3月20日(土)

出発日: 2010年2月13日(土)成田発、14日(日)シドニー着予定

帰国日: 2010年3月20日(土)シドニー発、同日成田着予定

予定日程:

日 程	予 定	滞在方法
1	2/13(土) 成田空港集合後、出発前オリエンテーション。成田空港よりシドニー空港へ向けて出発	機中泊
2	2/14(日) シドニー空港到着後、現地係員による出迎え、ホストファミリー宅へ移動	ホームステイ
3	2/15(月) プレイメントテスト	
35	3/19(金) 研修コース最終日: 修了証書授与	
36	3/20(土) シドニー空港へ移動、シドニー空港より成田空港へ向けて出発。成田空港到着後、解散	機中泊

#### 3.1. 大学概要

シドニー大学は、1850年に設立されたオーストラリアで最も長い歴史をもつ大学です。学生数は45,000人を超えますが、世界中から集まる留学生がそのうち2割近くを占めるという国際色豊かな大学です。大学の評価は世界的にも高く、オーストラリアをリードする多くの政治家や文化人を輩出しています。キャンパス内には、銀行や郵便局、カフェテリア、書店、薬局、医療機関などがあり、小さな都市のような雰囲気です。

本学とは2006年に大学間交流協定を締結し、これを機に塾生を短期間、同大学の語学集中講座に派遣することが決まりました。

#### 3.2. 研修校概要

Centre for English Teaching (CET)は、英語教育とアカデミック学習スキルプログラムで国際的評価を得ています。英語力を向上させ、高等教育のための準備をすることができます。到着後にクラス分けテストを行い、最適なクラスを判断します。教員は全て熱心な有資格者で、多くが世界各国で教えた経験を持っています。世界各国から多くの学生が集まってきます。

キャンパス内には、図書館やLL教室、コンピュータールームがあり、インターネットやEメールが無料で利用できます。また、シドニー大学のジムやプールなど、様々なスポーツ施設の会員になることもできます。

3.3. 募集人数 10名 最少催行人数 10名

3.4. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行。

3.5. 参加費用 約548,000円(予定。海外旅行保険料を除く)

[内訳]

研修費用	383,150円	登録・授業料、滞在中のホームステイ費、食費、現地空港から大学までの往復送迎費)、現地での24時間日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金	164,375円	往復航空運賃、成田空港施設使用料、現地空港諸税、2009年9月現在の燃油特別付加運賃、及び成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、ETAS(オーストラリア電子ビザ)発行代、現地でのヘルプデスク(電話)、帰国時のシドニー空港でのチェックインアシスタント
海外旅行保険料	(参考金額) 15,200円	東京海上日動火災保険株式会社 8Lタイプ(39日間まで)の場合

(注) 上記研修費用は、2009年9月を基準に算出されています。確定金額はCIEEから請求書発送時にその月のCIEE規定が替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。

上記研修費用・旅行代金は、今後の為替や航空運賃、燃油特別付加運賃の変動等により変更になる場合があります。また 10 名の参加申込みがあった場合の適用であるため、10 名未満の場合は料金に変更となります。また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

### 3.6. 研修内容

塾生が履修することになる一般英語 General English コースでは、会話、リスニング、ライティング、リーディング、文法の英語スキルを磨きます。このコースでは対話型の授業に力を入れ、英語圏で生活したり、業務で英語を使ったりする上で十分な自信が持てるようにします。全部で 7 つのレベルがあり、初日に受けるプレースメントテストの結果に従い、学習進度に合わせてクラスが割り当てられます。

General English コースには、アクティビティやエクササイズも多く、世界中の参加者を魅了しています。クラスでは、中南米、東南アジア、太平洋地域、中国、日本、韓国からの参加者と友人になれるでしょう。コースでは、1 冊目の教科書は無料ですが、2 冊目以降は自分で購入することになります。近くの書店で CET 学生カードを提示すれば、10%割引になります。

#### 一般英語 General English 時間割(例)

詳細は各自 [http://www.usyd.edu.au/cet/docs/sample\\_timetables/ge\\_sample\\_program.pdf](http://www.usyd.edu.au/cet/docs/sample_timetables/ge_sample_program.pdf) を確認してください。

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
8:30-10:30	<b>Project Progress check Speaking/Grammar</b> review: School grammar <b>Vocabulary</b> education <b>Reading</b> at school for 17hours	<b>Vocabulary review</b> Vocabulary Education in Australia Reading Summarising newspaper articles Speaking/Listening Your education	<b>Project</b> Begin preparing your presentation <b>Speaking</b> Are you telling the truth? <b>Progress Check 2</b> <b>Writing</b> Set-up homework task	<b>Reading/Speaking</b> Employers want those Uni graduates <b>Grammar</b> can/could/ be able to <b>Two minute talks</b>	<b>Revision/Consolidation work</b> <b>Pronunciation work</b> <b>Speaking/Listening</b> Making A Social Arrangement
<b>Break</b>					
10:45-12:45	<b>Speaking</b> Find someone who... (education topics) <b>Grammar</b> make/let/ be allowed to <b>Vocabulary Speaking</b> School & university subjects	<b>Speaking</b> 'Education:mini debates' <b>Pronunciation practice</b>	<b>Vocabulary/Listening/ Grammar</b> In the media-ed/ing adjectives <b>Vocabulary</b> Strong adjectives	<b>Reading/Speaking</b> Listening, speaking, making repuests, asking permission, etc <b>Computer based language learning</b>	<b>Grammar/Vocabulary</b> Video listening Behind the news
<b>Lunch</b>					
Assignments	<b>Grammar</b> Workbook pages	<b>Write your journal</b>	<b>Writing education in my country</b>	<b>Grammar/Vocabulary</b> Revise for progress test tomorrow	<b>Prepare two minute talk</b> Write about your week end

#### 参考になるリンク

- ・ オークランド大学 University of Auckland < <http://www.auckland.ac.nz/> >
- ・ オークランド大学 English Languages Academy < <http://www.ela.auckland.ac.nz/> >
- ・ シドニー大学 University of Sydney < <http://www.usyd.edu.au/> >
- ・ シドニー大学 Centre for English Teaching < <http://www.usyd.edu.au/cet/> >
- ・ ニュージーランド大使館 < <http://www.nzembassy.com/home.cfm?c=17> >
- ・ オーストラリア政府国際教育機構 < <http://www.study.australia.or.jp/> >
- ・ 外務省渡航関連情報 < <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> >

#### 個人情報保護について

申込みにあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」に基づき、安全かつ厳密に管理します。

個人情報は、本研修プログラムの 募集・参加許可者発表、日本での事前研修、現地大学での研修ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。上記 については研修先大学において行います。

本プログラムの実施にあたり、研修先大学ならびに本研修運営委託先である国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、留学に関わる調査・研究の資料として利用されることがあります。予めご了承ください。